

前回の授業で、SVOCの文構造を詳しく学びました。補語(C)の部分に名詞を置く動詞(V)の一例として、「選ぶ」という意味のchooseやelectという単語がありました。chooseは好きなものを選ぶ、electは投票で選ぶというような場面で使用されるようです。

例 1: I chose her my partner to dance.

例 2: We elected Mary the President of my country.

さて、「選ぶ」という意味の単語にはselectもあります。selectはよく考えて選ぶというような場面で使用されるようです。PS4のコントローラにあるセレクトボタンとは(項目を)選択(するための)ボタンという意味で、まさしくこのセレクトがselectなのです。

例 3: Please select a game which you want to play with me.

例 4: We selected a birthday present for our friend two days ago.

ところがこのselectの使い方には注意が必要です。この単語は、SVOCの文構造をとることができません。必ずSVOの文構造を使いましょう。「~(O)を...(C)に選ぶ」という意味でselectを使いたい場合は、以下のように「...として」という意味の前置詞asを用いてSVO表現します。

例 5: Citizens selected Shaun as the best TV character in my country.

このファイルを通してわかるように、個々の動詞がどういう文構造を取ることができるかについては、辞書などを引くことで、一つひとつ地道に身に付けていく他ないのです。今からそういったことを少しずつ自分のものにしていくことを強く提案します。さすれば、私をすぐにあざ笑えることでしょう。